

教区報 山口

発行／「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会
編集／広報部

No. 230

2023(令和5)年
7月

CONTENTS

- 親鸞聖人御誕生850年慶讃法要
立教開宗800年
- 第17回世界仏教婦人会大会
- 本願寺山口別院永代経法要
- 御同朋への学び刊行
- 寺族青年会(若朋会)総会
- 各種ごあんない・報告
- 別院・教区行事予定



第17回世界仏教婦人会大会(西本願寺)

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要

親鸞聖人御誕生850年
立教開宗800年 慶讃法要御満座の消息

本年3月29日より5期30日間にわたってお勤めいたしました親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要は、本日をもってご満座をお迎えいたしました。このたびの50年に一度のご勝縁に国内外より多くの方々にご参拝いただき、厳粛かつ盛大にお勤めすることができましたのは、仏祖のお導きはもとより、僧侶・寺族・門信徒など有縁の方々のご懇念のたまものと心より感謝申し上げます。

わたしたちが浄土真宗のみ教えを確かな依りどころとして生きることができるとは、親鸞聖人が『顕浄土真宗真実教行証文類』(教行信証)を著され、『仏説無量寿経』に説き示される阿弥陀如来の本願名号の真実の教えを明らかにされるとともに、聖人のみ跡を慕う多くの先人方が、み教えに生かされる喜びを今日まで大切に伝えてこられたからに他なりません。

わたしたちは阿弥陀如来の智慧の光明に包まれ、照らし出されることによつて、今まで気づかなかつた罪惡深重・煩惱具足という自身の姿とともに、如来の広大な恩徳を知らされます。そして、このような私達が、如来に親しまれていると同時に私の悲しみを如来の悲しみとして受け入れていただけることを信知することで、自身の罪惡煩惱を心から慚愧し、少しでも執わの心を離れなければならぬと気づかされます。

それは自分だけの安穩を願うような自己中心的な生き方から、人々の苦悩をともにしていく生き方への転換であり、そこから大智大悲という如来のお徳を真実と仰ぎ、それに沿うよう努める念仏者の生き方が開かれてきます。そして、その努め励んでいくままが如来のお徳に促され、ご本願に生かされて生きる姿になるのです。

このたびの慶讃法要を機縁として、あらためて「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と願われた親鸞聖人のお言葉を深く心に刻み、これからお念仏を喜び、阿弥陀如来の智慧と慈悲をあらゆる人に伝えることで、自他ともに心豊かに生きることができる社会の実現に向け、さらなる歩みを続けてまいります。

令和5年
2023年5月21日

龍谷門主 釋 専 如





第17回世界仏教婦人会大会を終えて

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要ご勝縁の今年、第17回世界仏教婦人会大会が5月11日・12日本願寺/国立京都国際会館にて開催されました。仏教婦人会総連盟のお役をいただき、スタッフとして関わらせていただいたことに感謝申し上げます。

コロナ禍のため、開催に向けた準備の会議がリモートでの形式になったり、戸惑いもありましたが、ご講師や事務局の方々のご指導のもと、全国の評議員さんと共に2年間、大会の準備に関わらせていただきました。

海外より約450名、国内より1800名の方をお迎えし「ご縁を慶び、お念仏とともに」をテーマに大会が始まりました。

初日はまずワークショップへの参加です。

内容は、①御絵伝の解説、②生

け花パフォーマンス、③ふたり劇「悲しみは忘れない」、④蓮の花作り、⑤ダーナの実践紹介、⑥各教区でもち寄ったフリードリックコーナーと折り紙で作られた世界の動物の展示、琴と雅楽の演奏会、そしてマーケットでは様々な物品の販売に加え記念品の風呂敷を使ったエコバックづくりの教室も



あり、いずれの会場も大盛況でした。

夕方からは、仏教婦人会総連盟大谷流豆美総裁ご臨席のもと、交流会が開かれました。各国からのアトラクションとちひろさんのコンサート、そして参加者によるプレゼントの交換会が行われました。言葉は通じなくても、お念仏でつながる参加者同士、身ぶり手ぶりを交えたり、スマートフォン



の機能を使って交流を深めていくことができました。

2日目は、9時30分より、BGMに乗せて各国の子どもたちのスライドショーが映し出され、開会式が始まりました。

広い会場に響き渡るお念仏と読経に感動しました。続いてちひろさんのコンサートでは、この日のために九条武子様の和歌に曲をつけられた新曲をご披露くださいました。そして、森田眞円先生による記念講演「願いに生かされて」を聴聞いたしました。

午後は、各国代表者による体験発表ののち、閉会式となりました。最後に、参加者が退場する際には、総裁もスタッフとご一緒にお見送りをしてくださいました。様々なご縁のおかげで開催できた有り難い大会も感動の中、無事終えることができました。

私個人として大会を通し一番心に残りましたのは、ちひろさんのコンサートです。おじい様である

東昇先生がこの大会の会場となりました。国立京都国際会館のこけら落としで記念講演をされ、今回同じステージで歌われました。素晴らしいご縁だと感動いたしました。

大会の終了後は、教区のツアーに合流させていただき、ともに2日間の感動を味わえたことに感謝いたします。教区のみなさまの支えがあればこそスタッフとして動くことができました。本当に有り難うございました。

次の大会は、4年後にハワイにおいて開催されます。山口教区からもたくさんの方が参加されることを願っております。

山口教区仏教婦人会連盟
委員長 西喜久枝



2023(令和5)年 本願寺山口別院永代経法要

～教区全門徒物故者総追悼法要～

6月8日(木)～10日(土)



本願寺山口別院永代経法要(教区全門徒物故者総追悼法要)が、6月8日(木)から10日(土)の3日間営まれました。2020(令和2)年より新型コロナウイルス感染症対策のため、時間の短縮や参拝者数の制限を行っておりましたが、4年ぶりに昼食をはさんで日中・速夜法要をお勤めすることができました。また、法要をお勤めするにあたり、阿武組・宇部小野田組・白滝組よりご奉仕をいただきましたが、こちらも4年ぶりとなります。お取り次ぎは藤澤信昭氏(滋賀教区蒲生上組浄光寺)よりいただきました。

2023(令和5)年 永代経法要各組結衆・列衆出勤者一覧(敬称略)

6月8日(木)	熊毛組	堀常 宗城	長岡 雅文		萩組	久保 和恵		
	厚狭西組	角 慧願	小山 勝大		阿武組	三元 孝之		
	宇部北組	福川 健三			豊浦西組	西谷 慶真	岩崎 恵水	
	美祢西組	平佐 秀成						
6月9日(木)	柳井組	松井 芳之			美祢東組	河野 文雄	三島 一生	秋里 大勝
	岩国北組	増田尚一郎			須佐組	寺戸 宣隆		
	防府組	弘中 貴之	安邊 一教	安間 大哲	大津東組	林 正文		
	山口北組	前川 恵子			豊田組	溪 利恵	肘島加奈子	
	宇部小野田組	藤本 好然			小月組	戸島 法城	泉 美重子	
6月10日(金)	大島組	岸 裕海			山口南組	河野 藤丸	青木 彩子	
	熊毛組中組	南 昌宏	寶城 俊成		華松組	安部 隆爾		
	熊南組	佐原 正文	布田 晃一		大津西組	日溪 博仁	高藤 唯信	
	熊濃組	寺本 志織			豊浦組	二木 文生	内藤 優紀	
	周南組	寺岡 裕信	玉井 晃道					

御同朋への学び

～ 部落差別の現実と
山口教区の取り組み ～
刊行

今年3月、より多くの門信徒や僧侶のみなさまに部落差別をはじめとする人権への学びを深めていただくための教材として、『御同朋への学び～部落差別の現実と山口教区の取り組み～』が刊行されました。

同書の刊行された経緯や願いについて、編集にあられた中村祐順山口教区前教務所長による同書の「はじめに 刊行に当たって」の文章を掲載いたします。

2017(平成29)年、山口教区内において発生した「差別はがき投書事件」を受け、御同朋の社会をめざす運動山口教区委員会では、数度にわたりこの差別事件への対応を協議しました。その結果、この事件が生じたことで、教区としてこれまで部落問題に関する情報の発信が及んでいなかったこ

と、また同朋運動への取り組みが教区全体のものとなっていなかったことをあらためて反省する契機となりました。

この差別事件への対応として「差別はがき投書事件『山口教区における対応要綱』」を作成し、教区をあげて人権問題に関する学びを推進してきました。特に「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)人権啓発推進僧侶研修会及び門信徒の方々も対象とする組同朋運動研修会の全組開催をめざしました。さらには連続研修会「山口教区『基礎から学ぶ同朋講座』」の開催など学びの環境づくりに取り組んできました。

2022(令和4)年現在、学校等教育の現場では、以前のような同和教育の場があまり持たれていないことから、若い世代の間では部落差別への認識が薄れています。

また、これまで同和教育を受けてきた世代でもその後の歴史研究が進む中で、部落差別に関する認識がこれまでと変化しています。そのようなことから、あらゆる世代を通じて部落差別をはじめとする人権への学びを継続する必要を感じました。

さらにインターネットでは、部落差別に関する誤った情報を流出させ、さらに差別を助長する動きも見られます。部落差別に関して何が正しくて、何が誤っているのかを見極める必要が迫られている現状にあります。

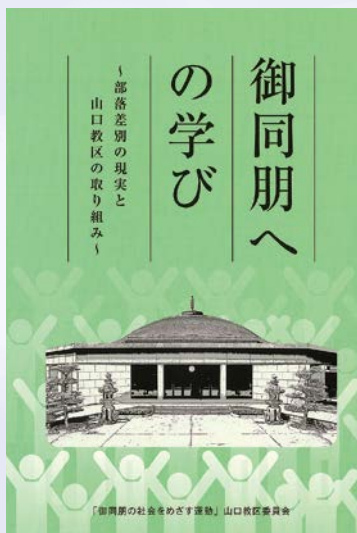
本書は、僧侶・門信徒あらゆる世代の方々を対象に、部落差別をはじめとする人権について学びを継続していただきたいという願いから発刊させていただきました。

まず、部落差別とは何か、私たちの教団と部落差別との関わり、中でも山口教区に關することを学びたいと思いま

す。さらに、私たちの教団内で起こった連続差別事件とその後の教団における取り組み、最後にこれまでの同朋運動の取り組み、ご門主さまのご親教「念仏者の生き方」を私自身の問題としていただき、自他ともに心豊かに生きていくことを学ぶ内容でまとめました。

本書を刊行させていただく2022(令和4)年は、水平社宣言が行われてから100年にあたる節目の年となります。

このことを契機として、みなさま方におかれましては、本書を差別・被差別からの解放をめざして、ご活用いただければ幸いです。



寺族青年会(若朋会)例会 5月10日(水)

5月10日日本願寺山口別院にて総会を開催しました。総会で新しい仲間に出会うことができ、若朋会の盛り上がりを感じました。

今年度の活動概要は、①会員や家族の親睦・活動の認知、②1泊2日寺院子弟の研修会開催、③仏法聴聞、④教区慶讃法要の補助、⑤30周年記念大会の準備等を行う予定です。



研修会は、山口教区慶讃法要

の出勤者補助のため、ご講師に賀陽寛山口教区勤式指導員を先生にお迎えして、新制御本典作法及び七条袈裟の被着法を学びました。御本典作法は、読み方から丁寧に教わり繰り返し声に出して練習をしました。勤行は耳に残るほど何度も聞くことが、大事と教えていただきました。七条袈裟の着付けでは、見えなところの結び方などを実際に見せていただき、少しの心かげが大きな違いになることに驚きました。質問では、普段の法衣の着衣方法について意見交換もおこないつつ学びを深めることができました。

日常の法務では、一人で行動し判断する場面も多く、不安になることもあります。若朋会



ではともに学び合い、助け合える仲間がいます。山口教区内の若手の皆さま、ぜひ一緒に盛り上げていきましょう。ご入会お待ちしております。18〜40歳までの寺族の方はどなたでも入会出来ます。入会申し込みは、jakuhoukai@gmail.comまで。

高橋 了



ご あ ん な い

防災講座開催について

御同朋の社会をめざす運動山口教区委員会では、万が一に備え、災害時の対応方法を学ぶ「住民主体の避難所運営」に関する研修会を企画しました。どうぞご参加ください。

・9月6日(水) 13:30より
本願寺山口別院にて
【講師】山本 晴彦氏



〈山口大学名誉教授・消防士〉

ご あ い さ つ

4月より
山口教区教務所並びに
本願寺山口別院に配属となりました下松組正覚寺の柳田慶慈と申します。精一杯務めさせていただきます。すので、ご指導とご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



3月31日をもちまして、2015(平成27)年度より、当教区教務所・本願寺山口別院にて8年間勤めた阿部(旧姓石丸)龍典職員が退職し、4月1日より新人職員として柳田慶慈職員が着任いたしました。

臨時勤務員時代を含め、8年間勤めさせていただきましました。在職中は、教区内の多くの方々より温かく接していただきましたことに感謝申し上げます。今後は、山口教区での経験を活かしながら日常の寺院活動に取り組んでまいります。



御 礼 の こ と

このたび、山口北組様より、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年の記念として、本願寺山口別院にホワイトボードを寄贈していただきました。この場をお借りいたしましたして御礼を申し上げます。

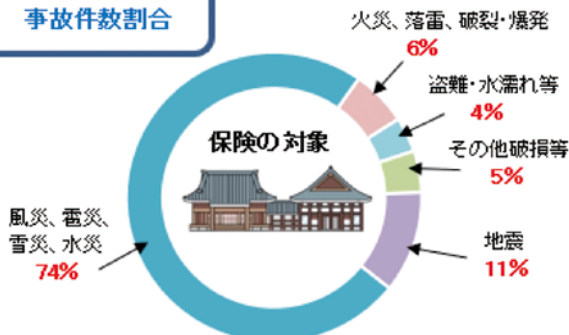


7月から10月は、台風による被害が多い時期です。自然災害への備えは万全ですか？



風水害の備えは、発生前の対応が重要です。
ハザードマップを確認するなど、日ごろから減災・防災の意識を高めましょう。

「寺院災害保険」 事故件数割合



万が一の災害に備え、火災保険の見直しをご検討ください。お気軽にご相談ください。

山口県に被害をもたらした台風 (平成30年～令和4年)

- ・令和4年… 台風11号、14号
- ・令和3年… 台風9号、14号
- ・令和2年… 台風9号、10号
- ・令和元年… 台風19号
- ・平成30年… 台風24号、25号



大型台風の接近、線状降水帯が発生したら…まずは 命を守る行動を！！

- ◆ 寺族、ご門徒様のご無事が確認できる連絡先、寺院の運営に関わるパソコン、携帯電話、充電器などは直ぐに持ち出せる場所にまとめて保管しましょう。
- ◆ 飛ばされやすいものは屋内に移動しましょう。
- ◆ 側溝、雨樋が詰まっていないか確認、掃除をしましょう。
- ◆ 平常時より、屋根、雨樋、壁など、特に気になる箇所を点検し、少しでも事故を未然に防止できるようにしましょう。

浄土真宗本願寺派提携保険代理店 株式会社 プラニ TEL:0120-37-0243

別院・教区行事

7月行事表: 3日(月) みのり会総会 講師/工藤顕樹氏(須佐組浄蓮寺)...

8月行事表: 5日(土) 別院常例法座 講師/森田義見氏(下松組勝賢寺)...

9月行事表: 4日(月) 山口北組組巡回... 10日(日) 第4連区門徒推進員実践運動研修会...

敬 弔

生前のご遺徳を偲び、謹んで敬弔の意を表します

- 山口北組 圓正寺 前住職 大澤 直道(80) 3月9日
須佐組 尊正寺 坊守 河野 朋子(81) 3月16日
周南組 最勝寺 前坊守 月谷 朋子(87) 3月29日
熊南組 法隆寺 前住職 小林 智道(84) 4月10日
熊毛中組 極楽寺 前住職 佐竹 秀道(73) 5月22日
白滝組 西楽寺 前坊守 中山千枝子(90) 6月3日
小月組 西蓮寺 衆徒 木村 昇(87) 6月19日
玖珂西組 受光寺 前坊守 宇野 綏子(92) 6月26日

編集後記

寺の風鈴祭りがニュースで取り上げられると、夏がきたと感じる季節です。毎年、総代さんからやってみたらと提案されるのですが、五十、百とぶら下がる風鈴を風流と感ずることはできないからと採用していません。とはいえ、寺には砂張の風鈴が二つ、きれいな音を奏でています。目的が涼しげな音を感じてほしいので、戦術的によい音を求め、戦術的に少し高価な風鈴をぶら下げるという形です。目的が寺の知名度を上げるといふことに変われば、戦術的に目立つことをし、戦術的にたくさん風鈴をぶら下げるといふことになったでしょう。飛躍的に手段の増えた時代、目的と戦略をしっかりと立てないと、いつまでも手間暇ばかり増えて目的を達成できないのではないのでしょうか。

本願寺山口別院・山口教区教務所 〒七五四一〇〇三三 山口県山口市小郡花園町三番七号 TEL〇八三(九七三)四一一一 FAX〇八三(九七三)四六三二